



秋冬の 芸術活動

日々の生活が、人それぞれに満足だったり、物足りなかりたりしたとしても、一日は一日。だったら、一日一善、一期一会。一陽来復、一球入魂、一挙兩得、一喜一憂、一生懸命、一笑千金、一心不乱、一寸光陰、一利一害。一日一日を大切に生きてようじゃないですか。

人間のやれることは、努力次第で無限かもしれないませんが、相手が人間であるとしたら、自分のペースだけでは、物事は解決しません。自分をおさえたり、叱咤激励をしたり、もし自分が先輩だったらアドバイスをして、共有することが大切だと思います。そこに存在するのは、人間関係。これもまた厄介で、相性が介入してくる。でも、仕事は相性とか好き嫌いのできるものではない

共生共感

所長 志賀道子

ないと、話し合う機会が増え、角が取れるのではないのでしょうか。

私も、話し合う機会が増え、角が取れるのではないのでしょうか。

私たちが今やらなければならぬことは、職種や立ち位置で違いはあるが、福祉サービスを必要としている人たちを前に立ち止まることはできないのです。一人ではできないこともありますが、共有することで成果が生じるかもしれません。多勢で取り組んでくれば達成感も喜びも大きいと思います。一人ひとりが望むことを共有して、日々の生活をみんなで盛り上げ、フェアな環境で生きて行こうじゃないですか。

秋冬の芸術活動

秋の芸術活動として、屋外での写生を行いました。「花壇を描きます」、「似顔絵を描いてあげる！」と思いついた絵をそれぞれに表現し、芸術の秋を楽しんでいました。職員とお互いに向かい合って似顔絵を描き合い、「これは似てるわ」「これは似てないわ」と互いの芸術センスを披露したり…。環境班ではクリスマスリースを作ったり、どんぐりで制作をしてみたり、干し柿にも挑戦！秋冬の恵みを生かして寒い季節も楽しめました。制作したものは来客用玄関にて展示中！来所された際にはぜひご覧ください。



はまぎく

第109号
発行

〒970-8003
いわき市平下平窪字熊ヶ平6番地
TEL (0246) 23-5311
FAX (0246) 23-5312
はまぎく荘新聞編集委員会
HP <http://hamagiku.i-fukuin.com>
E-mail: kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp

●紙面紹介●

1面	共生共感/秋冬の芸術活動
2面	共生共感/旅の支えを学ぶ
3面	共生共感/旅の支えを学ぶ
4面	共生共感/旅の支えを学ぶ

一泊

東京方面

待ちに待ったグループ旅行、東京方面。一日目、電車で上野駅へ。まず、上野駅近くの精養軒で洋食と美味しいコーヒーを堪能…上野公園を



抜け、西郷隆盛像や上野大仏を見ながら水月ホテル、外荘へ。荷物を預け、上野動物園へ

一泊

栃木那須方面

十月半ば、男子四名、職員二名で栃木県・那須方面に旅行を行いました。さて一日目は那須どうぶつ王国にて動物とのふれあい、そしてバーベキュー、ホテルでは豪華にカラオケルームで目いっぱいカラオケを楽しみ、夕食は豪華バイキング…それぞれ好きなものを存分にお腹いっぱい食べました。二日目はとりつくあーとぴあにて錯覚を使った体験、南ヶ丘牧場にて動

物へのエサやり体験、牧場ならではのなめらかなソフトク



出発！ ジャイアントパンダの父リリーへの愛らしい後ろ姿を眺め、香香の映像と記念撮影。まだ本物には会えませんでした。が、「いつか赤ちゃんパンダに会いたい」という夢

が膨らみました。ホテルに戻って温泉に浸かり、夕食。お喋りしながら一日目終了…。二日目は、東京駅近くの国



際フォーラムへ。相田みつを美術館で素晴らしい作品の数々を眺め、「荘に戻ったら文字書きの練習をしようね。」と誓うのでした。記念のお土産を買って、お弁当を買って、高速バスに…あまり多くは回れませんでしたが、忘れられない旅行となりました。



グループ旅行



わりのある方も大満足でした。そして昼食にはステーキハウスにてサーロインステーキを堪能しました。「また栃木に行きたいな」とそんな声も上がり早くも来年の旅が楽しみなせつかちさんもうらっしゃいました。

梅雨の季節ながら天気にも恵まれた六月に、日帰りで猪苗代方面に旅行してまいりました。まずは野口英世記念館にて、その生い立ちや住んでいた家屋、千円札を見て「この人だ」と驚いたり、とても発見があったようでした。野口英世

なりきりコーナーもあり、特徴的なひげと白衣



日帰り

市内方面

九月十三日(水)に、市内・日帰り旅行に行ってきた。らら・ミュウ内でお刺身、イクラ丼

など美味しい食事をいただき、お腹一杯になった後はお土産選びに大



興奮!! 目を輝かせてぬいぐるみや記念のハンカチなどを選んでいました。帰りは海岸沿いをゆっくりとドライブ!! 日差しが強かったせいもあって、ちょっと疲れてしまった方もいらっしゃるいましたが、心地よい海からの風にあたりとても気持ち良さそうでした。



日帰り

猪苗代方面

を身に着け、なかた博識高い写真撮る事が出来ました。お昼になり猪苗代地ビール館で昼食をとりました。地ビールを堪能し、豪華な御膳でおなかを膨らませたあとは、思い思いにお土産を選びました。帰りの車内で「野口英世はどんな人でしょう」とクイズを出してみると「手を火傷した人だ」との答えが細かいところを覚えていた皆さんに🌸を送りたいと思います。



本人中心の支援を学ぶ

支援員 穴戸 寿成

九月から十二月、計三回にわたって、いわき福音協会サービスマネジメント研修会が行われました。福音協会内の様々な事業所の職員が参加し、「本人中心の支援を学ぶ」と題し、ディスカッションなどを通じ、いろいろな意見を交わしながら学びを深めました。私たちがまず利用者の皆様を支援するうえで大切なことは、利用者の方について

実習生に望むこと

副主任支援員 川井 敦史

学生の頃、障がいのある方々が生活している施設に私は実習生として、約二週間お世話になりました。知識もなく、当然経験もなく、正直前向きな意欲もない実習生でした。そんな私が、いわき短期大学幼児教育科の学生の皆さんに向けて「実習生に望むこと」というテーマで講話をする機会を頂きました。この仕事を十年以上経験した今、何を学生に伝えようか悩んだ結果、子どもが好きで保育士を

て「知る」ということです。ご本人から、ご家族から、上司や同僚から、様々な視点から見た利用者の方を知ること、私たちの支援における提供の幅や選択肢は広がりません。「音楽が好き、だけれど私は常に疑問や興味を持って支援を行なうことを心掛けています。それは私の中で利用者の方を固定したイメージの中に閉じ込めて支援をしないようにするためです。研修の中で①「本人を中心とする支援」、②「本人が中心となる

目指しているのに、なぜ障がいのある人の勉強もしなくてはならないのか」というテーマを本題としました。①〇〇の支援がある」という言葉を耳にしたことがありません。人と接する、人と関わり支援するという共通点では保育の現場も同じです。十人の子どもらがいたら、やはり一人ひとりが違い、それぞれ十人十色。支援する側には自身の引き出しを多く持つ専門性が求められます。先入観にとらわれない、柔軟な発想と考

えが施設実習で学ぶことができ、それは子どもと接する支援」の違いについてのお話がありました。似ているようですが、大きく違います。①は支援者が本人についての支援計画を考える物であり、②は本人が自らの支援計画を考

えるものとなっています。私たちが目指すべきものは「本人が中心となる支援」です。私たちが自らの望む生き方を保持しているように、利用者の方にも望む生き方があります。研修での学びを生かし、より豊かな毎日を過ごしていただけよう努めていきたいと思っています。

みはま愛護の会研修旅行

去る十一月九日～十日に、みはま愛護の会研修旅行で、宮城県白石市にある「社会福祉法人 白石陽光園」を視察して来ました。この施設は、昭和五十二年開所の歴史を持ち、昭和五十四年開所の「はまぎく荘」と同じ時間軸を過



更生保護女性ボランティア

七月五日、今年も更生保護女性会の方たちのボランティア訪問がありました。工芸班①と工芸班②に入っていただき、一緒に七夕飾りを作成しました。折り紙で輪つなぎや三



角つなぎの準備をしていただけ、それをお喋りしながらつないで、楽しいひと時を過ごしました。

みはま福祉祭inはまぎく

今年も例年と同じ九月の第一土曜日の九月二日に第四十一回みはま福祉祭inはまぎくが行われました。当日は雨天と生憎の天候でしたが多くの来場者の方が見えになり、各模擬店やアトラクションを楽しんでおられました。



芋煮会

十月六日(金)に、芋煮会が開催されました。職員による紙芝居の披露や、音楽に合わせ体を動かし盛り上がりました。保護者の方々にもご参加いただき、美味しい豚汁やおにぎりをお腹いっぱい味わいました。





クリスマス 忘年会

2017.12.7



十二月七日、カルチエド
シャン・ブリアンにてクリ
スマス忘年会が開かれました。
美味しい料理が運ばれ、黒田
昭一牧師よりクリスマスに
関するお話もしていただき、ク
リスマスマードは最高潮に
…。そこに現れたサンタとト
ナカイ！欲しかったプレゼン
トを受け取って皆さん大満
足！第二部・忘年会では、今
年ブレイクしたあの芸人さん
など素敵な衣装を身にまっ
つての紅白歌合戦！赤組の勝利
となりましたが、両軍大いに
盛り上がりました。



晴レル家での外食
はまぎく荘では、七月と八
月に男女交互で晴レル家での
外食を行いました。一人ひと
りが食べたいメニューを選
び、出てきた料理を前にした
皆さんの笑顔は心温まるもの
がありました。また、外食の
他にも環境班
の活動の中
で、休憩を兼
ねて何度か利
用させて頂い
ています。と
ても暖かみの

晴レル家での外食



スバリソートハワイアンズ 敬老招待



十月十三日、敬老招待でハ
ワイアンズへ行きました。こ
の日を心待ちにしていた元氣
はつらつご高齢チーム、長そ
でを脱ぎ捨て飛び込んだら氣
分は常夏です。名物フラガー
ルショーはハロウィン仕様で、
迫力のステージに無心に見入
りました。外は雨でしたが、
つかの間の
南国ムード
を堪能し、
気持ちま
でホットに
なった皆さ
んでした。

九月より契約職員としてお
世話になっていきます。佐藤幸恵
です。まだわからないことが多
いですが、初心と笑顔忘れず
に頑張りたいと思います。



十二月十三日、冬の風も冷
たくなってきましたがとても
晴れた一日でした。この日は
待ちに待った「浜しんやさん
コンサート」の日です。前日
から「明日はコンサート!?!」
と盛り上がりを見せながら迎
えた当日。浜しんやさんとそ
のお仲間の皆さんとの楽しい
ひと時。歌って、踊って、笑っ
て、楽しんで。冬の寒
さを忘れて
しまうほど
に大いに盛
り上がりま
した。

浜しんやさんコンサート



支援員
佐藤 幸恵

新職員紹介

「考えすぎは良くないよ」
と言われてしまうことがある
私。しかし私は考えるのが好
きなのです。特に人を喜ばせ
ようと思った時は「あれもし
たい、これもしたい」と次か
ら次へと。
私は芸人ではありません
が、人を笑顔にするプロであ
りたいと常々思っています。
はまぎく荘の毎日にもっと
「楽しい」「嬉しい」が少し
も増えることを思っています。
「はまぎく」一〇九号ご高覧くだ
さい。

編集 集 後 記

退職者
杉本 一彦さん
平成二十九年九月をもち
まして退職されました。
お疲れ様でした。

退職者

永年勤続者紹介

第四十三回
いわき市総合社会福祉大会
〈勤続十年〉
支援員 東田美恵子